

サポート会員・両方会員さんへ救命講習のお知らせ

厚生労働省の「ファミリー・サポート・センター事業 実施要綱」が改正され、サポート会員、両方会員は5年に1回、「普通救命講習」の受講が必須となりました。

サポート会員・両方会員さんで救命講習を5年以上受けていない方、「救命技能認定証」を持っていて期限が切れている方は、ぜひ受講をお願いいたします。

狛江市では、サポート会員養成講習会の金曜午後（2025年2月のみ木曜午後）の部で受講できます。センターへメール、またはお電話でお申込みください。

◎2024年度「普通救命講習」の予定は以下の通りです。

2024年 5/24(金)、8/2(金)、11/15(金)、2025年 2/20(木)

時間：13:00～16:00 場所：ひだまりセンター2階

- ・テキスト代…新規で受講される方は1500円かかります。
すでにサポート会員、両方会員の方は不要です。
- ・その他、消防署で直接受講することも出来ます。その場合消防署にお問い合わせください。

新しい援助をご希望の方へ

新年度を迎えるにあたり、お子さんの送迎先が変更になり、新しい援助が必要になる方もいらっしゃると思います。

ご依頼にあたっては、次のことが具体的に決まってからご依頼ください。

- ・送迎先はどこか。
- ・援助は、いつ、どんな内容で、何時から何時まで必要なのか。
- ・送迎方法（徒歩、バス、ベビーカー）など。

◎なお、すでにサポート会員と事前打ち合わせを済ませていて、援助内容の変更がある方も必ずセンターへご連絡ください。

※センターにお知らせのない援助は、援助中のケガ、事故があった際に保険の対象になりません。

よろしく
お願い
します



おねがい

◎登録している一番下のお子さんが小学校を卒業される利用会員の方は、センターにて退会の手続きをさせていただきます。会員証の返却をお願いいたします。

◎その他、市外への引越し等で退会する際も、会員証の返却をお願いいたします。

◎サポート会員さんは活動報告書を年間通して、毎月5日までにご提出ください。間に合わない方はセンターまでご連絡ください。

狛江市ファミリー・サポート・センターだより

No.49

令和6年

3月発行

ふあみさぽ通信



発行 / 狛江市ファミリー・サポート・センター（受託：社会福祉法人 雲柱社）

利用会員
Iさん

ファミリーサポートを利用し始めてから1年程経ちました。近くに頼れる人がいなかったため0歳の頃から月に何度か娘の預かりをお願いしています。私もリフレッシュになり、近所に頼れる方がいることが心強いです。娘も1歳半を過ぎ、すっかりサポート会員さんやご家族の皆さんのことが大好きで、娘自身すごく楽しんで帰ってきます。

サポート会員さんのお宅ではいつもご家族のみなさんで遊んでくださったり、食事もお家で食べるよりたくさん食べさせてくれたり、本当に感謝しかありません。娘の成長と一緒に喜んで見てくださるのでありがたい気持ちでいっぱいです。ファミリーサポートを利用させていただいて本当に良かったなあと感じています。

会員さんの声

サポート会員
Iさん

20年程前、私は「利用会員」で、3児の子育てをサポート会員のMさんにお手伝いして頂きました。お稽古の送迎・公園遊び・下の子とお留守番など、いつも優しく、楽しく子供達に接して下さり家族のような存在でした。現在、その子供達は成人となり、私は「サポート会員」になりました。あの時のご恩返しと始めたサポートでしたが、素敵なお縁を頂いています。

我が家で生後6か月からお預かりしているHちゃんは1歳半になりました。よちよち歩きが愛らしく、娘達とは姉妹のように遊んでいます。お母様とのお喋りも楽しく、その中で遊びや離乳食の要望もお伺いしています。利用会員の時も、サポート会員になった今でも温かな気持ちを頂いています。



●狛江市ファミリー・サポート・センター

〒201-0013 狛江市元和泉 1-11-11 ひだまりセンター1F tel.03-3480-1587

開設時間 月～土曜日 10:00～17:00 日曜・祝日・年末年始はお休み

時間外緊急携帯番号 070-2208-7032（緊急のみで、ご依頼やキャンセルはご遠慮ください）

サポート会員さん紹介

part.2

頼れるサポート会員でもあり、「comarch (こまち)」を運営している梶川さん、スタッフの大畑さんにファミサポ活動について質問してみました!!

Q1.こまちを開設した理由を教えてください。

こまちを 2020 年に開設しました。世田谷区には親子の集いの場『おでかけひろば』が 40 ヶ所以上あります。狛江には少なかったため、赤ちゃん連れ、親子で行けて何かあったら一時保育もできる場所、地域の大人、みんなで子育てができるような場所を作りたいと思い立ち上げました。(高齢の方でも誰でも来れる場所を目指しています!)

Q2.遊びに来るお子さんとはどのような思いで接していますか?

お子さんにはその日の気分、興味のあることを楽しんでもらいたいです。こちらは臨機応変に対応しています。保護者の方からみると「預ける場所」だけど、お子さんにとって「預けられる場所」ではなく、「また行きたい場所」になりたいと思っています。

Q3.こまちをどのように利用してほしいですか?

親子で遊びに来てもらっても良いですし、サポート会員さんがお子さんを預かる場所として、是非利用してほしいと思います。幼児用のイベントも用意していますので遊びにいらしてください!



梶川さん

Q1.サポート会員になるきっかけ・思いは?

20 年前に狛江でも子育て支援が始まると知り、ファミサポの説明会に参加しました。20 年が経ちタイミングが合い、自分のスキルを活かしたいと思い、サポート会員になることにしました。

子育ては地域でやるもの。地域社会、大人が関わって子どもを育てていくという気持ちがあります。特に今どきの育児中のお母さん達は情報過多で、不安や辛い気持ちを出しにくく、孤立しがちです。人に頼ってもいいし、頼れるところが複数あった方がいいですね。

子育ては日々想定外の連続で大変なもの。その育児に奮闘している保護者を支えたい。保護者が育児の中に少しでもクスッと笑えたり楽しめる時間ができるといいな、という思いでサポートしています。

狭い狛江の利点は顔を見て繋がれる、街みんなが繋がれるところ。そんな気持ちでいろんな繋がりが増えるとうれしいです。

Q2.心がけていることは?

ファミサポで預かる時は子どもが主体であり、自己決定、自分の意思で決めていいと思います。サポート会員が主導にならないよう遊びは任せて、選択した遊びをこちらが広げてあげられるようにしています。遊びに飽きたら違う視点を与えて新しい展開にもっていく。預かる時は一緒に遊んで楽しんで、また会いたいなと思ってくれると嬉しいです。



大畑さん

お子さんだけでなく、育児中の保護者を支えたいという熱い思いを持ったお二人ですね。いつもたくさん援助をいただきありがとうございます! アドバイザー一同



ファミサポ 交流会

恒例の交流会が令和 5 年 11 月 25 日(土)にたんぼひろばにて開催されました。

今回は残念なことに体調不良などで当日キャンセルの方もいらっしゃいました。少数での開催となりましたが「とても楽しい時間を過ごせました!」との感想もいただき充実した交流会となりました。制作に集中し過ぎてしまい、もっとみなさんの体験談を聞きたかった、とのお声もありましたので、次回の意見交換会に繋げていけたらと思っています。

アドバイザー一同



野川のえんがわ こまち

誰でもいつでもふらりと立ち寄れる「まちの縁側」を目指し、一軒家を開放しています。おはなし会や、こまち食堂なども開いています。イベントの詳細はホームページなどをご確認ください。



サポート会員 養成講習会

今後の予定

日時:【第1回】令和 6 年 5/22 (水) ~ 25 (土) 10:00~16:00
:【第2回】令和 6 年 7/31 (水) ~ 8/3 (土) 10:00~16:00

場所:ひだまりセンター2階

※4 日間の受講が必要ですが、未受講のカリキュラムを次回以降の講習会に繰り越すこともできます。※曜日によって開始、終了時間は前後します。※予定が変更になることがあります。受講希望の方はセンターまで詳細をお問い合わせください。